





本物の“和”を取り入れ、 京都らしさが堪能できる空間に

“キモノ・マインド”というホテル全体のコンセプトに基づき、本格的な“和”の要素をちりばめた空間づくりを目指しました。たとえば、フロントロビーに設置された造作家具は、突板を使用した高級感のある仕上がりで、エレガントな空間にマッチする佇まいです[4]。客室では、ヘッドボードの布団張りや、ソファの張り生地に西陣織を採用し[1・2・3]、室内空間を引き締めるアクセントに。間接照明での演出と相まって、京都ならではの美が堪能できます。

物件名：ダイワロイネットホテル京都駅前
 依頼主：ダイワロイヤル株式会社 様
 所在地：京都府京都市
 完 成：2016年8月
 担当者：東京支店 東京ファシリティ営業所
 小林友希
 〈企画・プランニング〉
 石井卓洋／近藤達夫／伊丹貴博
 〈設計〉
 結城滋
 〈工事〉
 東京支店 工事課
 富山隆浩
 〈サイン〉
 ファシリティ事業部 事業推進課
 西島輝／平石年

※ 担当者の所属については2017年3月31日時点のものです。
 一部、部署・役職等を省略しています。

 造作家具

 サイン